

## 建物を長生きさせる確かな施工技術

目的に応じたさまざまなシーリング。  
その確かな技術と、  
数多くの実績が示す高い信頼性。  
建物を丈夫に、そして美しく仕上げます。

目地のわずかな隙間から発生する漏水は、建物の内外部の腐食や結露、断裂を生じさせ、建物の信頼性を著しく低下させます。三國はコンクリート目地、ガラス目地、サッシ目地、タイル目地等、あらゆる目地のシーリング施工にトータルにお応えします。建物を風雨や地震などから守り、



建物の寿命を延ばす三國のシーリング施工技術。これまで積み重ねてきた研究と実績により蓄積されたノウハウを生かし、目地からの漏水を確実に防ぐとともに、ディテールまで美しく仕上げます。

シーリング  
施工フロー図

- 気温、湿度の確認。
- 被着面の錆び、油分、埃、モルタル屑、塗料などの除去。

## 施工準備

## 下地処理

- バックアップ材またはゴンドプレーカーの装着。
- マスキングテープ張り。
- プライマーの塗布。

シーリング材  
充てん

- 被着面に十分な圧力がかかり、目地底まで充てんできるよう、ノズルの角度と充てん速度を考慮して行ないます。

## ヘラ仕上げ

- ヘラ押さえを十分に行ない、目地表面を平滑に仕上げます。

## 充てん後処理

- マスキングテープの除去。
- 目地周辺の汚れ除去、清掃。

## 当社のシーリング施工は…

昭和40年代、ビル建築工法においてカーテンウォール工法の幕開けを迎え、それ以降、建物の構造は剛構造から柔構造へと変わり、シーリング施工に対する要求も高度なものとなってきました。そして現在、建築物が大型化、高層化、軽量化し、建築工法もカーテンウォール工法、オープンジョイント工法、ガラス構造接着工法が主流になってきています。三國のシーリング施工は、これらの工法それぞれに確実に対応しています。

## 早期の発見、早期の対処

定期的な調査、点検と異常部の早急な補修、改修。的確な維持、管理は建物をいつまでも安全に保ちます。

建物が老朽化するにともない、特に外壁部分においては浮きやひび割れ等が発生し、最悪の場合には剥離落下という事態につながります。異常部が発見されたときは、スピーディーかつ確実な補修、改修工事を施さなければなりません。三國は、数々の実績に裏うちされた補修改修施工技術



で、建物全体の総合的な調査から異常部の発見、そして確実な施工と、

トータルかつこまやかな対応で、病んだ建物を健康な状態にリフレッシュ。建物の安全性を保持するとともに、その建物に対する安心感、信頼感をより高めます。

### 当社の改修施工は…

建物の大型化、高層化の進展にともない、長期間にわたり、建物の経済性、安全性、快適性を維持していくことの必要性が強く求められるようになってきています。そのためには、建物の日常保全および補修、改修などにより適切な対応をしていかなければなりません。三國は、それぞれの建物について精密な調査確認方法により、改修に最適な材料、工法を設定し、建物に生命を与えつづけています。

### 改修施工フロー図

